

京都府スポーツ & ウェルネス新産業創出交流会 (第3回スポエル交流会)

24.12.12 京都府地域政策室

次第

1 開会

2 内容

- (1) 京都府からの情報共有
 - ・南丹地域広域連携プロジェクトの実施状況
 - ・来年度の取組予定（スポーツ庁「運動・スポーツ習慣化推進事業」等）
- (2) 各企業様より、お取り組み内容等のご紹介（9社）
- (3) 意見交換

3 閉会

※終了後、交流のためのブレイクアウトルームを設けさせていただきます。
（入退室自由。30分程度）

(1) 京都府からの情報共有

- 「南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ広域連携プロジェクト」の実施状況
- 来年度の取組予定
(スポーツ庁「運動・スポーツ習慣化推進事業」等)

京都府総合計画（R5年度～）

南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ広域連携プロジェクト

・ハイパフォーマンススポーツセンター連携機関指定（全国17大学・機関）

・日本パラリンピック委員会フィジカルチェック機関認定（全国12大学・機関）



クロス産業集積エリア創出
スポーツ×ウェルネス×食

府立丹波自然運動公園（京丹波町）



京都トレーニングセンター（京丹波町）



スポーツ&ウェルネス実証と人材育成

- 府立丹波自然運動公園
- 京都トレーニングセンター
- 府立須知高校
- 京都先端科学大学
- 明治国際医療大学

6

南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ
広域連携プロジェクト



健康長寿づくりの先進モデル地域づくり

- 府立丹波自然運動公園
- 府民の森ひよし

テーマ：ヘルス・スポーツ産業

産業創造リーディングゾーン

- 府立京都スタジアム
- 府立丹波自然運動公園
- 京都トレーニングセンター
- 京都先端科学大学
- 明治国際医療大学

都市生活と田園生活がそれぞれ味わえる生活圏の創造

京都先端科学大学（亀岡市）



中北部へのゲートウェイ機能

サッカー観戦を契機とした交流促進
eスポーツの聖地化

・アーバンスポーツ、保育園、木育施設、eスポーツ施設等複合施設

産業創造リーディングゾーンの形成

コンセプト

地域が持つ資源など、そこにしかない強みを生かしながら、

- ▶ 国内外から注目されるテーマを掲げ、
- ▶ イノベーションに取り組む企業の集積を図り、
- ▶ 次代の産業を創出する拠点づくりを目指す

京都府域に世界をリードする産業創造拠点を整備し、オープンイノベーションの拠点づくり

そして、リーディングゾーンの効果を京都府全域に波及し、
均衡ある発展へ!

第1回スポエル交流会（参加団体 15企業等）

令和6年3月1日（金）
サンガスタジアム by KYOCERA
VIP会議室



大企業 : アシックス、セントラルスポーツ、電通
スタートアップ等 : Ghoonuts、グレースイメーシング、（一社）チームキノウ、プロキダイ、ヨクト
京都企業 : 鼓月、ジーク
金融機関 : 京都銀行、三菱UFJ銀行
スポーツ拠点 : 京都トレーニングセンター、ビバ&サンガ
ワザバー : （公社）関西経済連合会



交流会の様子



名刺交換・情報交換会

【意見抜粋】

<オープンイノベーションの拠点としての機能について>

- ・まずは南丹地域内で学校での体力測定結果や健康診断、生活行動等のデータを収集したデータベースを構築し、それを各社の事業開発や社会課題解決に向けた取組に活かせるような仕組み・環境づくり（コミュニティづくり）を進めてはどうか。本交流会がその母体となることに期待。
- ・企業間の協業を推進するためには、情報プラットフォームやデータを利活用するコミュニティづくりが必要

<新しいビジネスの取組の開発について>

- ・他企業との協業のもと、自社技術を用いた新しいビジネスを生み出すには、共通して取り組んでいける目標が必要。

<他事業者との協業・連携、コミュニティづくりについて>

- ・コミュニティを継続させるためには、運営に地元を巻き込むなど、地域の協力が必要。また、幅広い対象を巻き込んでいくための動機付け、仕掛けを考える必要がある。

第2回スポエル交流会（参加団体 24企業等）

令和6年6月6日（木）
京都トレーニングセンター



大企業 : アシックス、大塚製薬、キッセイコムテック、タイムズモビリティ、電通、ワコール
スタートアップ等 : グレースイメージング、三調、スギノエイチ、スポーツイノベーション、スポーツX、ダートフィッシュジャパン、
(一社) チームキノウ、BHQ、プレシャスケア、プロキダイ、リカバリー、リモハブ
京都企業 : エムケイ
金融機関 : 京都銀行、京都北都信用金庫、三菱UFJ銀行
大学 : 京都先端科学大学
スポーツ拠点 : 京都トレーニングセンター、ビバ&サンガ
ワザバー : (公社) 関西経済連合会



京都トレセン視察・交流会の様子

【意見抜粋】

【スポーツ&ウェルネス フィールドラボ（仮称）について】

- ・今は個々の技術、ノウハウが点である状態。それを繋ぐものが必要。尖ったコンセプトや先進な課題にフォーカスすることで国の支援も得られやすくなる。

【データベースの構築・活用について】

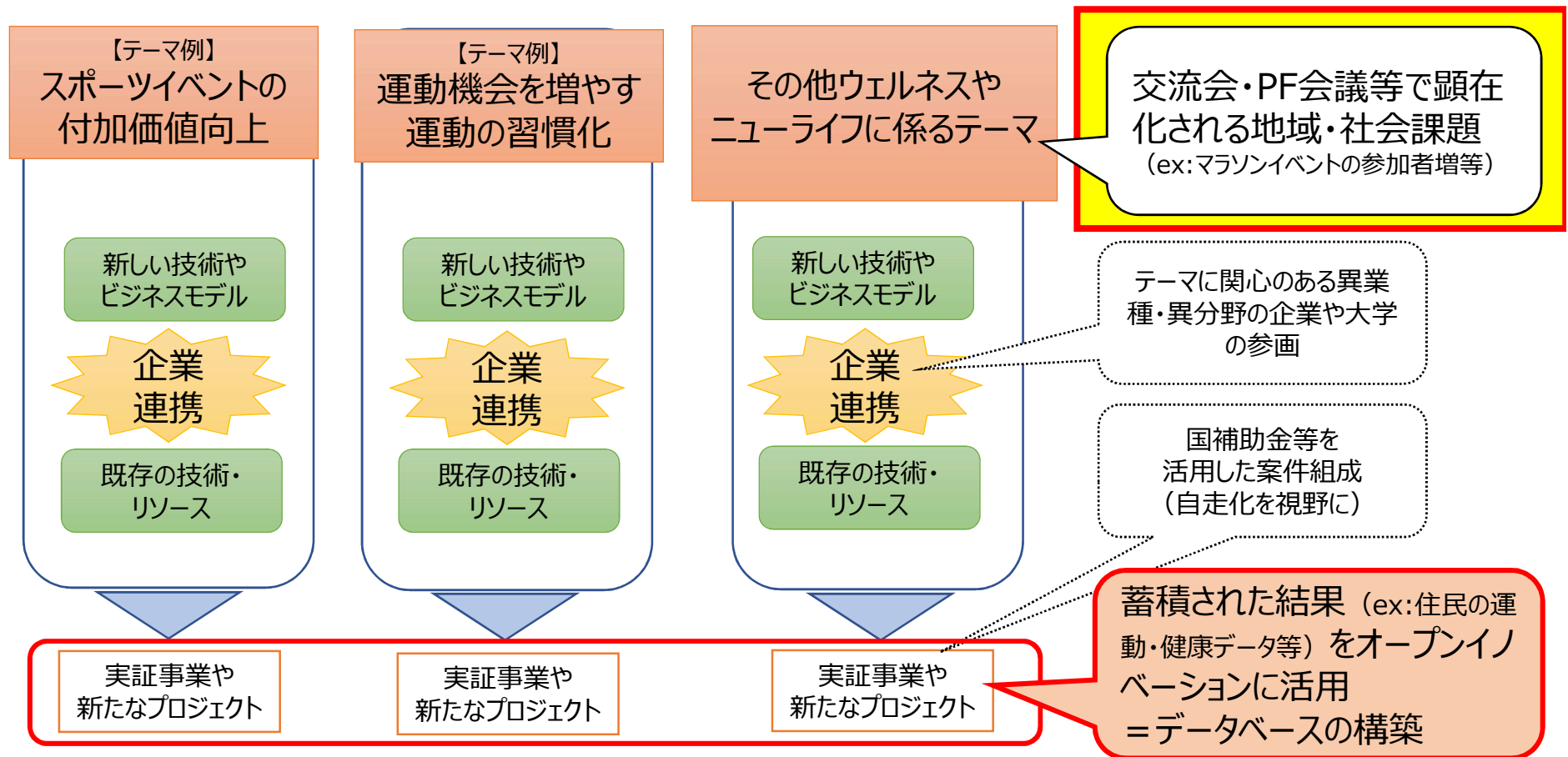
- ・例えば、お薬手帳のように、身体測定や運動測定の結果を個人が毎年継続的に記録していく運動手帳のようなものを作成し、運動手帳と連携してデータを取り続けるというスキームも考えられないか。

【他事業者との協業・連携について】

- ・運動は継続が大事だが、定着が難しく、面白くなければ続かない。特に子供には、“遊び”を通じて、楽しみながら体を動かす機会を提供し、スポーツにつながっていくとよい。

最終的に目指すもの（オープンイノベーション拠点づくりに向けて）

交流会を通じた実証事業や新たなプロジェクトの展開



交流会から生まれた課題解決のアイデアやビジネスチャンス、南丹地域をフィールドに、企業・産学連携の新たなプロジェクトやスタートアップ支援実証実験等へつなげていく

いわば、巨大な“フィールドラボ（野外実験室）”を目指す

京都トレーニングセンター

×

(株) グレースイメージング

① 【汗乳酸測定モニター試験】

② 【新種目向けの測定プロトコルの開発】

→南丹地域で新サービス・商品の開発→実装

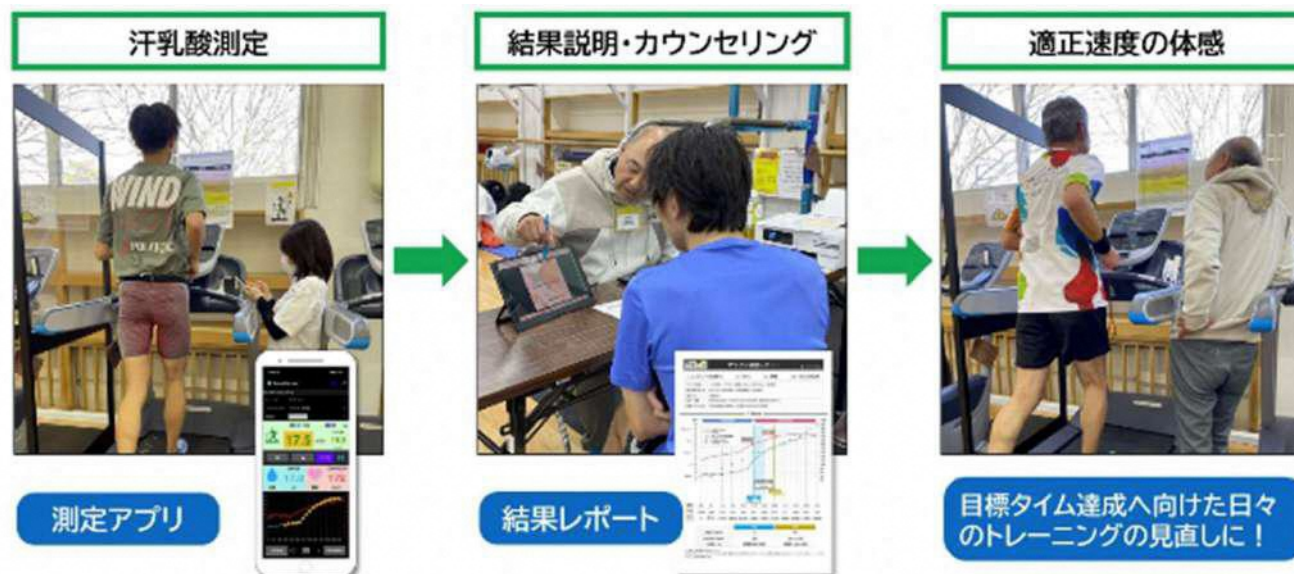


写真:さいたまマラソン実証実験「汗乳酸測定によるマラソンカウンセリング」 in 浦和駒場体育館(2023年12月・2024年3月実施)

(イメージ図)

15名様
(各日5名様)

24京都丹波ロードレース大会
スポーツ&ウェルネスイベント

KTCアカデミー

汗乳酸測定モニター

各回先着
20名

24京都丹波ロードレース大会
スポーツ&ウェルネスイベント

KTCアカデミー

ランニングクリニック

10月6日(日)
9:30~16:45
1枠：1時間15分
1日5枠

10月19日(土)
9:30~16:45
1枠：1時間15分
1日5枠

10月26日(土)
9:30~16:45
1枠：1時間15分
1日5枠

※募集締め切りは各日とも開催日の3日前まで ※各日定員に達した時点で受付終了 ※2024京都丹波ロードレース大会参加予定者を優先

乳酸とは

“乳酸”とは、きつい運動をした時に体内で増える物質で汗や血液で測定することが出来ます。汗や血液に含まれる乳酸は、運動やトレーニングの指標となることが知られています。

軽い運動から始めて少しずつ運動強度を上げていくと、乳酸の量は初めはほぼ一定を保っていますが、途中から急に増え始めるポイントがあります。このポイントを「L」といい、マラソンなどの持久的な運動能力と関係があるといわれています。

汗乳酸測定って？

トレッドミル（ランニングマシン）にて規定された速度に合わせて走り、汗に含まれる乳酸濃度をリアルタイムで測定します。走行時間は、能力によって変動しますが10~20分前後で測定することが出来ます。

第1回
9月29日(日)
9:30~12:00

第2回
10月13日(日)
9:30~12:00

第3回
10月27日(日)
9:30~12:00

●座学
安全にランニングを行うための基礎知識

●実技
<5kmラン>
現状の体力を把握しよう

●座学
パフォーマンス向上の目的
-トレーニングスケジュールを作成してみよう-

●実技
<60分ラン>
長い距離に挑戦しよう

●座学
レース本番に向けての準備

●実技
<10kmラン>
レースに向けた調整走

※募集締め切りは各回とも開催日の3日前までとなります。 ※各回定員に達した時点で受付終了となります。

講師 濱口幹太先生

これまで、京都マラソンや大阪マラソン等において芸能人やアナウンサーのマラソン参加（完走に向けた）支援等のご経験をお持ちです。

濱口先生からのコメント
これまでたくさんの市民ランナーを指導し、完走にむけてサポートしてきました。今回も安全に楽しく走るために座学と実技を行います。マラソン完走に向けて一緒に頑張りましょう！！皆さんのご参加お待ちしております。

濱口先生の保有資格
健康運動実践指導者、健康運動指導士、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者、中学・高等学校第一種教員免許

場所	対象者	参加費	お申込み方法	お申込みフォーム
京都トレーニングセンター 体力測定室	ランニングが趣味のある方 ※40歳以上/50歳以上/60歳以上の方 ※申し込みは先着順です	5,200円/人	京都府ロードレース スポーツ&ウェルネスイベント申込受付 ●申込フォームにて	

主催：京都府 主管：(公財)京都府立丹波自然運動公園協力会 京都トレーニングセンター
本イベントは京都府から健康増進リーディングゾーン推進補助金補助の補助を受けて(公財)京都府立丹波自然運動公園協力会が実施しています

場所	対象者	参加費	お申込み方法	お申込みフォーム
京都トレーニングセンター 丹波丹波自然運動公園内	ランニングが趣味のある方 と男女ともに可	各回1,500円/人	京都府ロードレース スポーツ&ウェルネスイベント申込受付 ●申込フォームにて	

主催：京都府 主管：(公財)京都府立丹波自然運動公園協力会 京都トレーニングセンター
本イベントは京都府から健康増進リーディングゾーン推進補助金補助の補助を受けて(公財)京都府立丹波自然運動公園協力会が実施しています

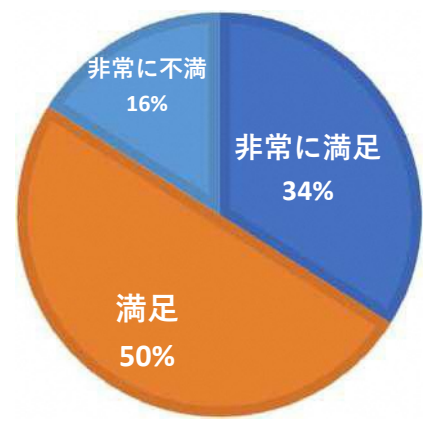


汗乳酸測定モニター（10/6～11/16）

参加者数：12名（うち1名は辞退）

評価：

■ 非常に満足 ■ 満足 ■ 普通 ■ 不満 ■ 非常に不満



<高評価のコメント抜粋>

- 乳酸値が上昇し始める心拍数とトレーニング強度が明確になり、今後のトレーニングプランを計画する上で非常に参考になりました。
- 長距離を走り切るための自分の体力の現在地を科学的に知ることが出来たため。
- 現状を把握でき予想外の結果だった。
- 経過値も知りたいから、第二回も案内がほしい。

<「非常に不満」回答の原因について>

- 結果がどう考えても、自身の能力以下であった模様。
→結果の正確性や信頼性について、今後も検証していく必要がある。

<測定プロトコルの開発について>

- 希望する方の競技／種目、競技レベルに応じて、「汗乳酸測定」を用いたご提案が可能に。

京都トレーニングセンター

×

一般社団法人チームキノウ

- ①ユニバーサルスポーツ体験コーナーの設置
→親子世代の運動実施のきっかけづくり



同日開催!

京都丹波ロードレース大会 開催します!

※当日の交通規制にご協力をお願いいたします。

中央広場

ファミリースポーツコーナー

子供から高齢者まで、性別や障がいに関わらず誰もが楽しめる「ユニバーサルスポーツ体験」や「バリア体験」ができます!

ポッチャ、ラフア、アーチェリー、モルック、アメリカンフットボール、チャリーディング、バリア体験





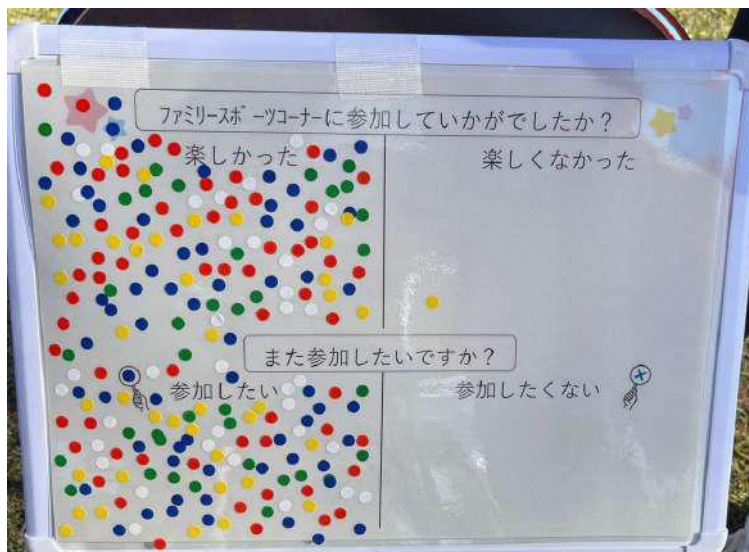
【参加人数】

・ 合計約1,450名
(体験した方、付き添い含む)

モルック約300名
アメフト約300名
ボッチャ、コーンホール約200名
アーチェリー約650名

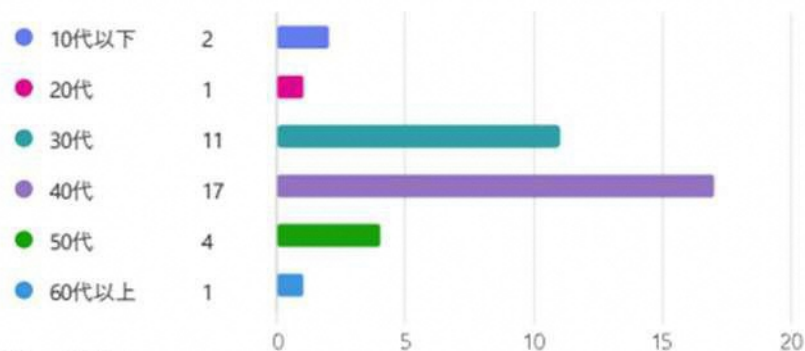
【子どもたちへのシールアンケート結果】

楽しい。
また参加したい。
→ほぼ100%の回答

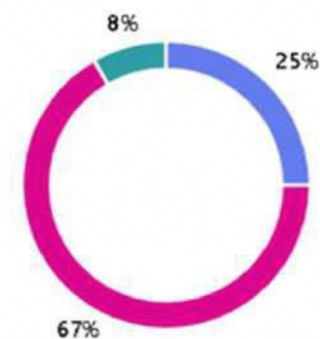
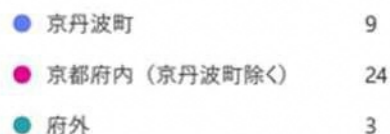


【親御さんへのアンケート結果】

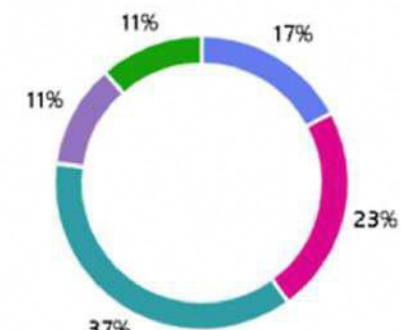
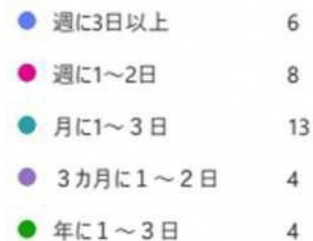
2. あなたの年齢を教えてください。



3. あなたの居住地を教えてください。



6. あなたの運動頻度を教えてください。



→同様の取組を南丹地域内のイベントへ横展開できる可能性



TITLE	IVS2024 KYOTO / IVS CRYPTO 2024 KYOTO
DATE	2024.7.4 - 7.6
PARTICIPANTS	TOTAL 12,000
ORGANISER	IVS KYOTO EXECUTIVE COMMITTEE

トップ 速報 ライブ エキスパート オリジナル みんなの意見 ランキング
主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域

IVS Crypto/JBW Summit、京都で開幕——前年を上回る1万5000人が参加予定【更新】

7/4(木) 6:00 配信 1 1 1 1



IVS Crypto/JBW Summit、京都で開幕——前年を上回る1万5000人が参加予定【更新】

国内最大級のクリプトカンファレンス「IVS Crypto/JBW Summit」が4日から6日まで京都で開催される。今年は、昨年の参加者数1万5000名超を上回る1万5000人の参加が見込まれている。

今年のテーマは「Cross the Boundaries」。文字どおり、海外から多くの業界リーダーが京都に集結するほか、ゲーム、エンターテインメント、AIなど、幅広いテーマを縦横に取り扱いながら、Web3の未来を探っていく。開始を告げるオープニングセッションでは、岸田首相がビデオメッセージを送った。

朝日新聞デジタル > 記事

スタートアップよ 京都から世界へ羽ばたけ 京都府・京都市がタッグ

日比野容子 2024年6月29日 10時15分



📧 f X B! ...
list



世界の起業家と投資家が京都に集う「IVS2024」をPRする（左から）西脇隆俊・京都府知事、高川敏明・実行委員長、松井孝治・京都市長。手は「∞（無限大）」のマーク=2024年6月26日午後1時48分、京都市中京区の二条城・香雲亭、日比野容子撮影



京セラ や 任天堂、ニデックといった世界企業を生み出した「ベンチャーの都・京都」をよみがえらせようと、京都府と京都市が動き始めた。起業家と投資家が一堂に会する「IVS（インフィニティ・ベンチャーズ・サミット）2024」を府市がタッグを組んで誘致し、2年連続の京都開催が実現。西脇隆俊知事は「京都から世界に羽ばたく企業を輩出したい」と意気込む。

IVSは、東京のベンチャーキャピタル「ヘッドラインジャパン」と府、市が実行委員会を作り、7月4日から3日間、京都パルスプラザ（伏見区）を中心に開く。社会課題を革新

【2024結果概要】

- ・ 参加申込者：12,000人以上
- ・ セッション数：198 ・ スピーカー：760名
- ・ スポンサー：170社以上
- ・ VCパートナー：120以上
- ・ サイドイベント：300以上

日本最大級のピッチコンテスト「IVS2024 LAUNCHPAD KYOTO」開催！優勝賞金1,000万円を獲得したスタートアップは？ <後編>

7/28(日) 6:03 配信



提供：IVS2024 KYOTO / IVS Crypto 2024 KYOTO

2007年に初開催され、2024年で18年目を迎える「IVS LAUNCHPAD」。過去に登壇した企業の60社がEXIT、10億円以上の資金調達を実施した急成長企業が35社以上あり、「スタートアップの登竜門」とも呼ばれるようにイベントに。

2024年は、2024年7月4日～6日に京都パルスプラザにて「IVS2024 KYOTO / IVS Crypto 2024 KYOTO」が実施された。

本記事では、熱戦が繰り広げられたピッチイベント「IVS2024 LAUNCHPAD KYOTO」の様子をレポートする。後編では、15社のうち後半に登壇した7社のビジネスモデル、及び優勝賞金1,000万円を獲得したスタートアップを紹介したい。



【スポーツ & ウェルネスの取組】

- ① トークセッションの開催
- ② ブース出展

GREEN Stage : Technology

14:05 DGI-3

ジェンダード・イノベーションが切り拓く新しい未来

男女の身体の構造、機能や変化の違いといった「生物学的な性別」や性別役割分担など「社会的・文化的に形成された性別」といった視点や課題に着目し、商品やサービスを開発すること（ジェンダードイノベーション）が、未来の社会にどのような効果をもたらし、より快適かつ健康な暮らしに寄与していくかについて議論を行う。



Anna
Kreshchenko



冬木 優子
Wacoal



野崎 治子
Kyoto University



林 真依
PwC Consulting



→IVS2025も京都開催。連携した取組を加速させるため検討中。
(スポーツ・ウェルネスのテーマに特化したピッチイベント開催等)



(1) 実施概要

- 名称 京のスポーツスタジアム夢づくり事業 2024「京都キッズスポーツフェスタ」
- 開催日時 2024年9月28日(土) 10:30~16:00 (10:00 開場)
- 開催場所 サンガスタジアム by KYOCERA
 ピッチ・スタンド、エントランスホール、北側・東側広場、3x3 バスケットボールコート、スポーツクライミング施設など
 〒621-0807 京都府亀岡市亀岡駅北 1丁目 8-2
 がめきたスポーツパーク (フットサル場)
 〒621-0807 京都府亀岡市亀岡駅北 1丁目 15
- 対象者 小学生以下の子ども及び保護者など
- 参加費 無料
- 内容 メインピッチの京都サンガ F.C.を核として、スタジアム内の至る所でトップアスリートのパフォーマンスを無料で観戦・体験できるイベント。

【スポーツ & ウェルネスの取組】

- ① 企業ブースの出展
- ② コーンホール体験会の実施

■ 総括・所感

参加者約 4300 名、のべ 6400 名以上が様々なスポーツを体験
 約 92%の参加者が、「とても楽しかった」・「楽しかった」と回答、「楽しくなかった」という回答はなし
 80%以上の参加者が、「このイベントをきっかけにスポーツをやりたい」と回答



当日のプログラム

オープニングトークショー
OPENING TALK SHOW 10:30~11:00

京都ヘルス塾! 知事と一緒に「健康テスト」
 健康をテーマにクイズ形式で楽しく学んでいきます。

京都府知事 西脇 隆俊 氏
京都市長 藤野 浩一 氏
 京都市副市長 藤野 浩一 氏
 京都市健康推進部長 藤野 浩一 氏

きょうと健康大使 木村 祐一 氏
日本経済新聞社副社長 藤野 浩一 氏
 京都府出身 特技は料理

ネイビーズアフロ

私たちが参加します!

その他プログラム

京都産業大学ホール 北室

- ・きょうと健康づくり実践企業表彰式
- ・きょうと健康長寿推進府民会議 総会
- ・「企業」 「働き方の未来をデザインする」
- ・「健康」 平野 翔大 氏「企業はなぜ女性の健康に取り組むのか」
- ・「進化」 平野 治 氏「進化する働き方って? - 分散化の時代の働き方 -」

京都産業大学ホール 南・中室

- ・企業・団体による展示
- ・ワークショップ

開催日時：2024年11月21日 10:00~17:00
 開催場所：京都経済センター 2F
 出展企業・団体：35企業・団体
 入場者：企業、自治体関係者等 計632名

【スポーツ & ウェルネスの取組】

- ① 企業ブースの出展
- ② 関連企業とのネットワーキング



→引き続き、企業連携や実証事業の場として連携を検討。

(1) 京都府からの情報共有

- 「南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ広域連携プロジェクト」の実施状況
- 来年度の取組予定
(スポーツ庁「運動・スポーツ習慣化推進事業」等)

【令和7年度取組案】

- ・ 企業交流会（スポエル交流会）の継続開催
- ・ 地域課題解決に向けた実証事業の継続的な実施
- ・ **スポーツ庁「運動・スポーツ習慣化促進事業」の申請**
（「体力運動手帳」等による運動習慣化の取組実証）

【経過】

- これまでに、スポエル交流会を2回実施
- その中で、生活、運動、健康等に関するデータを蓄積し、各企業の事業開発やサービス商品開発にいかせる仕組みづくりの御提案をいただいた。

【本取組の狙い】

- テーマは運動習慣化
(キーワード：ライフパフォーマンス向上、運動無関心層 等)
- 「体力運動手帳(次スライド参照)」とその蓄積データを企業の新サービス・商品開発に活用し、住民福祉の向上を目指すモデルを構築したい。

【本取組の方針】

体力運動手帳の取組を軸に、

- 企業の持つ技術やプロダクトを組み合わせることにより、
- 本コンテンツの充実や使いやすさの向上を図り、
- ユーザーにとって、運動が身近で、継続しやすいものとなり、ひいては京都府民の運動実施率の向上に繋がる仕組みを構築したい。

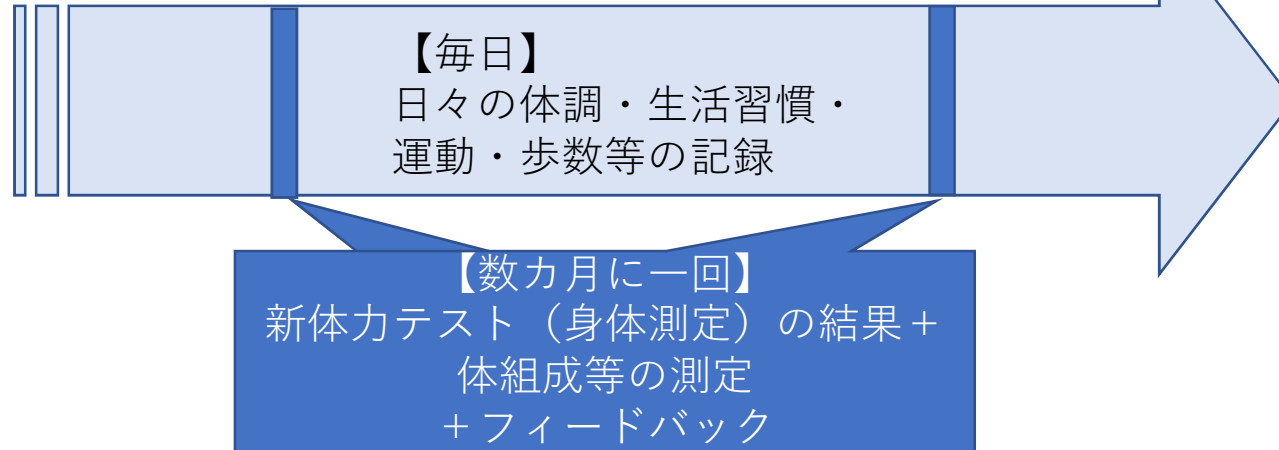
事業の実施に向けて本テーマに関心のある企業に参画をいただきたい。

【地域課題】 運動習慣化推進と運動・体力データの蓄積

【体力運動手帳のイメージ】



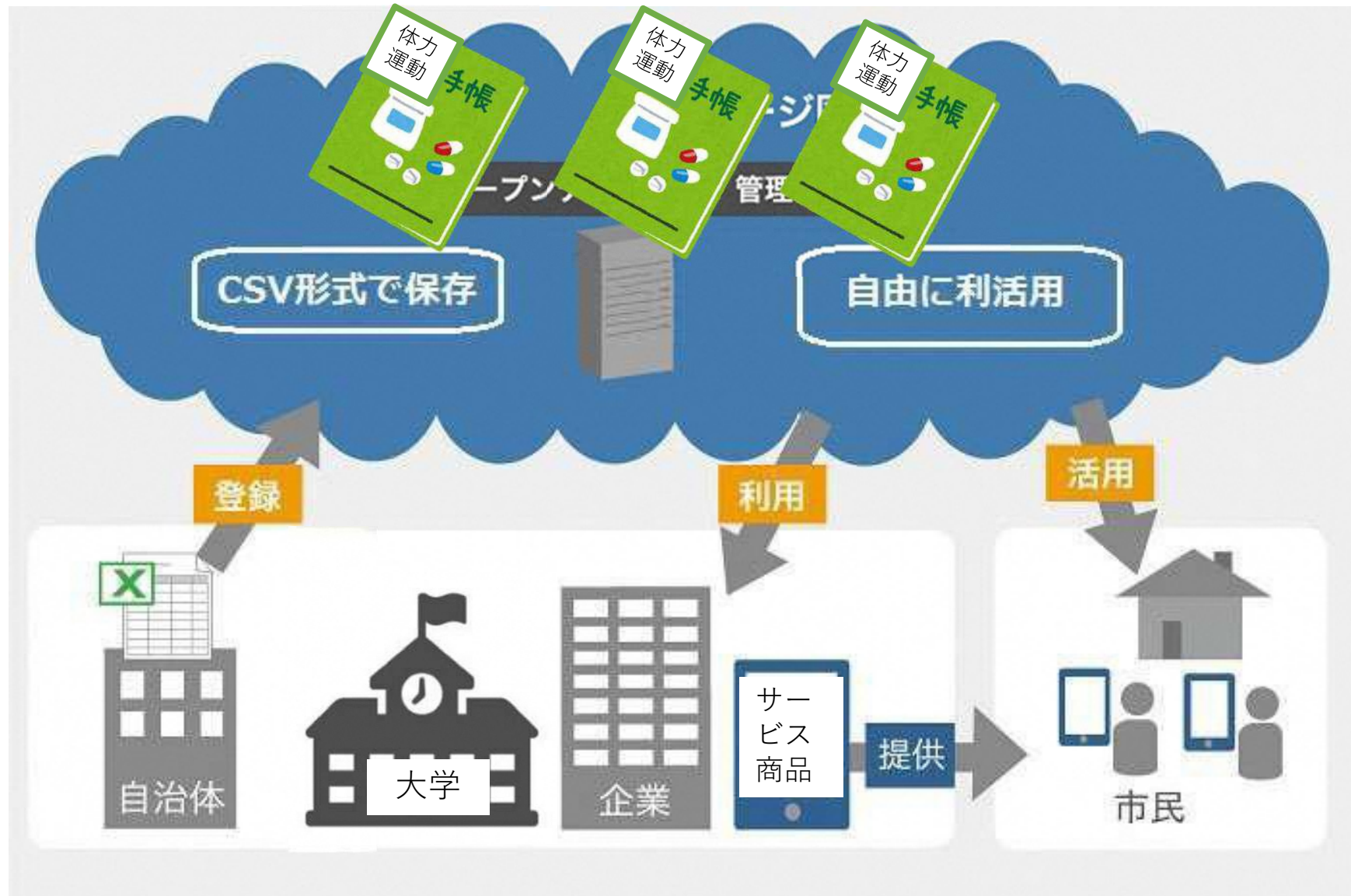
時間軸



- ・ 体力・運動手帳の試験運用
= 「運動実施率UP」と「運動・体力データベースの構築」
(将来的には) データベースを活用した住民サービスの開発

検討中の案であることをご承知おきください。

目指したい姿（理想像）



参考：スポーツ庁HP

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/detail/1399182.htm

運動・スポーツ習慣化促進事業

令和7年度要望・要求額
(前年度予算額)

307,303千円
236,491千円)



現状・課題

運動・スポーツをする際に何らかの制限や配慮が必要な方々を含め、誰もが身近な地域で安全かつ効果的な運動・スポーツを日常的に実施するためには、**地域の体制整備が必要**である。また、地域には運動・スポーツの無関心層が一定割合存在している状況にあり、効果的に取り込む必要がある。さらに、多くの地方公共団体がこのような取組を行えるよう、本事業の**取組事例を積極的に共有することが必要**である。

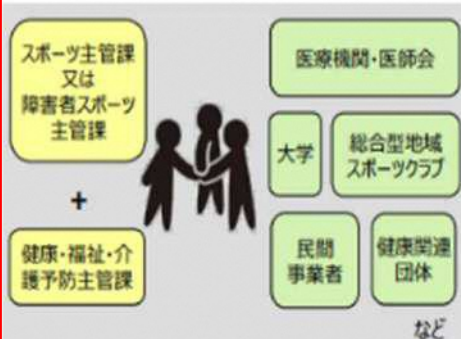
事業内容①運動・スポーツ習慣化促進事業（補助）

多くの住民が安全かつ効果的に運動・スポーツを習慣的に実施するため、地域の実情に応じて**地方公共団体が行うスポーツを通じた健康増進に資する取組を支援**することにより、地域における**スポーツ実施率の向上**を目指す。
276,814千円（236,491千円）【拡充】

交付先	都道府県、市町村	補助率	定額
事業実施期間	平成27年度～		

体制整備の取組【必須事項】

行政（スポーツ主管課・障害者スポーツ主管課、健康・福祉・介護予防主管課等）や**域内の関係団体**（大学、医療機関、スポーツ団体、健康関連団体等）が一体となり、効果的・効果的に取組を実施することができる**連携・協働体制の整備**を行う。



習慣化させるための取組【必須事項】

以下の取組①～⑤のうち、いずれか一つ以上を選択の上、実施する。

- ① **医療と連携**した地域における運動・スポーツの習慣化の取組
- ② 要介護状態からの改善者を含めた、**介護予防**を目指した地域における運動・スポーツの習慣化の取組
- ③ 地域住民の**ライフパフォーマンスの向上**に向けた目的を持った運動・スポーツを推進する取組
- ④ **障害のある人が、ない人と一体となった形**での運動・スポーツの習慣化の取組
- ⑤ 以下いずれかのターゲットに係る主に**スポーツ無関心層**に対する地域における運動・スポーツの実施・習慣化に係る取組
ア. **女性**（妊娠期・子育て期を含む） イ. **働く世代**

追加実施事項【選択事項】

以下の取組①～⑤については、推奨事項とし、実施する場合に審査の加点要素とする。

- ① **相談斡旋窓口機能**（スポーツや健康に関する情報やスポーツ実施場所等を伝えるワンストップ窓口を設置）
- ② **官学連携**（申請自治体の地域の大学等と連携し、その専門的知識や施設等を活用）
- ③ **複数の地方公共団体の連携・協働**
- ④ **運動・スポーツ関連資源マップの作成・活用**（地域の医療関係者等の協力の下、住民の健康状態に応じたスポーツ実施場所等の情報を見える化したマップを作成・活用）
- ⑤ **運動・スポーツの実施が社会保障費に及ぼす効果の評価**

補助内容：定額（事業費200万円～1,000万円）

(参考) 運動の習慣化について

成人の運動習慣を継続させるための研究では、以下の5つを継続要因だとして挙げています。(※5)

1. 仲間がいる
2. 自分なりの目標を持つ
3. 自らを意識づける
4. 参加する場所や指導者がいる
5. 成果が見える

同研究では、研究機関が主体となり1年間運動トレーニングを行い、その後は参加者主体としましたが約8割が運動を継続していました。継続した人たちからは「一人ではできないが、参加者と一緒だと楽しめると感じた」という意見が多数を占めています。

コミュニティーや団体など、スポーツ組織に参加することで仲間ができ、その仲間たちと交流を持ち、励まし合い、誘い合いながら活動することが習慣化へつながります。好きな運動を、ひとりではなく仲間と楽しく行うことが、運動を続ける大きな要因となります。

さらに、スポーツ組織に参加して運動を行う人は、単独で行うよりも要介護リスクが低く、身体的・精神的疾患のリスクを低くしています。(※6) グループでの運動が、身体的機能の向上、社会とのつながり、活動的な気持ちや楽しみとなり、バランスのよい健康に寄与するようです。

【③評価・相談・共有】

- ・ 評価：測定結果に基づく、運動効果の評価
- ・ 相談：評価を踏まえた目標設定
- ・ 共有：被験者間での目標の宣言や共有

①～③のそれぞれの段階で、
内容の充実に加え、参加しやすさ・使いやすさの向上を図ることができるサービスや製品に関する御参画を期待

運動の習慣化
サイクル

【②測定】

- ・ 身長、体重、体組成等身体の状態に関わる事項
- ・ 各種運動機能に関わる事項
- ・ その他、健康にかかわる事項

【①運動】

- ・ 参加者に合わせた、目的に合わせた運動プログラムや機器の提供
- (例：筋骨格系、神経系、呼吸循環内分泌代謝系、メンタル系)

体力運動手帳のデータ蓄積

ターゲット設定と取組のアイデア (たたき台)

※下記はあくまで1アイデアであり、予算等諸条件を踏まえ大幅に変更となる可能性があります。

○対象者案

京都府内在住・在勤の30代～50代の男女（現役子育て世代）
特に、運動実施率が低いとされる女性

○取組案

(1) キックオフイベントの開催と既存イベントとの連携

- ・京都府内にある複数の商業施設において、取組周知のためのイベントを開催（「親子の体力測定会&ユニバーサルスポーツ体験会（仮称）」）
- ・その他、既存イベントとの連携（DREAM FESTA、キッズスポーツフェスタ、障がい者スポーツのつどい、京都丹波ロードレース大会等）
- ・イベント集客目標：2,500名

(2) 体力運動手帳の運用

- ・アプリダウンロードしていただく目標参加者：イベント呼びかけ人数のうち500名
- ・継続的にアプリ使用していただく目標参加者：うち20%（今年度参考）=100名
- ・【運動】→【測定】→【評価・相談・共有】を1サイクルとして3サイクル
- ・本府の地理的特性を踏まえ、エリアごとに【運動】会場を設置
- ・参加者のニーズに応じた、多様な【運動】【測定】メニューを提供

(3) 健康経営に関心のある企業に対し、福利厚生の一環としての実証を提案

例えば「きょうと健康づくり実践企業」認証企業 等

事業申請までのスケジュール（見込み）

	府（申請事業者）	スポーツ庁
12月	第3回スポエル交流会(12/12)	
25年1月		
2月		公募説明会・公募開始 (※例年同様の場合)
3月		
4月	中旬：事業計画書の提出	
5月		下旬：内定
6月	上旬：交付申請書の提出	
7月		上旬：交付決定



来年度事業実施 素案

検討中の案であることをご承知おきください。

	体力運動手帳サイクル	関連イベント一例
25年4月		
5月		
6月		
7月	【交付決定】 実行委員会	IVS DREAM FESTA
8月	運動①	キックオフイベント
9月	測定① + 評価・相談・共有①	キッズスポーツフェスタ
10月	運動②	
11月	測定② + 評価・相談・共有②	京都丹波ロードレース大会 ヘルス博
12月	運動③	亀岡ハーフマラソン
25年1月	測定③ + 評価・相談・共有③	
2月	分析・評価 実績報告書作成	

(2) 各企業様より、取組内容等のご紹介

- ①関西スポーツ医・科学サポートコンソーシアム/
京都トレーニングセンター/
京都府立丹波自然運動公園 様
- ②合同会社ビバ&サンガ 様
- ③クライムファクトリー株式会社 様
- ④KDDI株式会社 様
- ⑤株式会社二加屋 様
- ⑥株式会社PITTAN 様
- ⑦株式会社SPLYZA 様
- ⑧日本システム技術株式会社 様
- ⑨株式会社RASCAL's 様

(3) 意見交換

16:00～16:30 ブレイクアウトルーム開放

- ・希望者のみご参加ください。（オブザーバ参加含む）
- ・入退出は自由です。

- ・ルーム1，2は京都府職員が在室します。
- ・区別はございませんので、空いている方でご質問等
お願いします。

- ・ルーム3～は交流のため自由にお使いください。
- ・個別でチャット等していただき、申合せの上、ご入室
ください。
- ・ルーム間の移動は自由です。